

# 大分県県民の森施設（青少年の森、平成森林公園、神角寺展望の丘） 将来ビジョンについて

施設の今後のあり方

**存続  
(利活用)**

県民の森林への理解醸成や健康的な生活の確保を図るため、

- ① 広大な森林の適切な維持管理を進めるとともに、
- ② 適切に整備等された森林の持つ優れた自然を活かして、身近に親しめる保健・休養及びレクリエーション・森林に関する学習活動の場としての活用を進める。

目指すべき  
施設像

- ① 適切な森林の整備により、豊かな自然を楽しむとともに、森林への理解を進めることができる施設
- ② キャンプ、ウォーキング、サイクリングやお花見など四季を通じたイベントを実施するとともに、変化する県民のニーズに応えることで幅広い利用やリピータの獲得ができる施設
- ③ バリアフリー化等により、様々な世代が利用できる施設

目指すべき  
利用者像

- ① サイクリング・マウンテンバイクといった森林空間を活かした新たなレクリエーションを行う若者の利用者
- ② 休日にキャンプ・森林に親しむイベントなどを楽しむ家族連れの利用者
- ③ 平日に森林浴や自然散策を楽しむ年配の利用者
- ④ 林業に関心を持ち、森林について学習を行う利用者

定量的目標  
達成指標

- ① 年間利用者の増 (過去3年平均：151,356人/年) 172,000人/年 (参考R1実績：152,717人/年)
- ② 有料施設利用件数の増 (過去3年平均：4,573件/年) 6,300件/年 (参考R1実績：5,872件/年)

定性的目標  
達成指標

- ① 認知度の向上や小学生から高齢者まで幅広い利用者の確保に向け、広報の充実や利便性向上に取り組む。
- ② 新たな利用者獲得のため、環境整備と当該施設等のさらなる活用を推進する。
- ③ 育樹祭を契機とした森林・林業教育（木育含む）での活用を促進する。

## 主な課題と解決策

### 【課題】

- ① 広大な森林の適切な維持管理の継続。
- ② 人口減少・少子高齢化により利用者が減少する傾向にある。
- ③ 新たなニーズに対して、既存施設では対応が困難。

### 【解決策】

- ① 公共造林事業等による森林整備や県有林の利活用の推進、森林ボランティアによる保全活動、森林整備に必要な林道の維持や修繕等を引き続き行うことにより、森林の適切な維持管理を図る。
- ② 高齢者には新聞広告など活字による広報を、若中年層にはSNSなどネットでの広報を行うなど、利用者の世代に合わせたアプローチを実施する。あわせて、設備のバリアフリー化や、施設利用のキャッシュレス化・ネット予約の対応に取り組む。
- ③ フリーテントサイトの造成や、マウンテンバイク・サイクリング等の新たなコース整備や大会の開催などにより、利用者の新規開拓を図る。